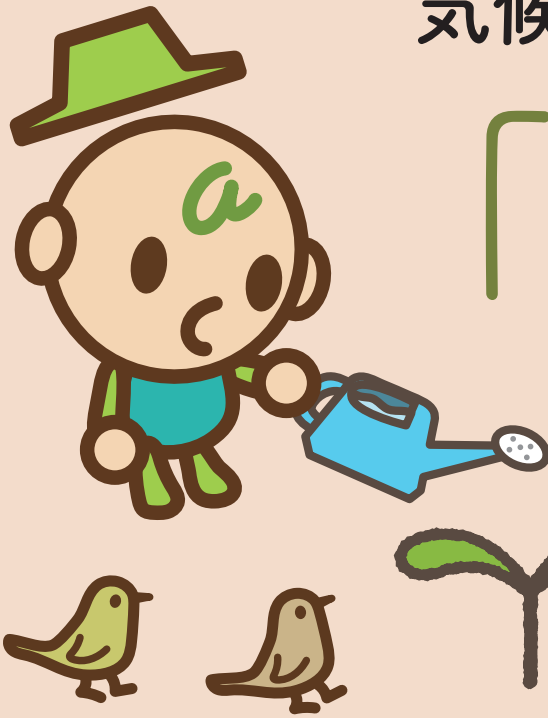


みらい 未来のためには今はじめよう！
いま

きこうへんどう えいきょう
気候変動の影響への

てき おう

「適応」



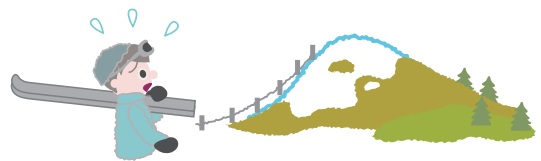
め み
目で見る
てきおうさく
適応策

きこうへんどう いぜん いま ほう あつ ちきゅうおんだんか ゆき ふ かた か
気候変動によって、以前よりも今の方が暑くなって（地球温暖化）いたり、雪の降り方が変わって
きたりしています。また、近年、短時間で降る大雨が増えてきたと感じている方も少なくないのでは
ないでしょうか。

暑さが厳しくなった



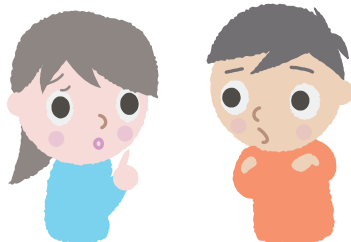
ゆき ふ かた か
雪の降り方が変わってきた



たんじかん ふ おおあめ ふ
短時間で降る大雨が増えてきた

きこう へんか わたし た もの けんこう さまざま えいきょう あた
こうした気候の変化は、私たちの食べる物やみなさんの健康などにも様々な「影響」を与え、
しかも、その「影響」が今後、さらにひどくなっていくかもしれないのです。

今までいなかった
びょうき ばいかい むし
病気を媒介する虫が
棲み付くように
なるかも…



き
気になった
かた
方は、ページを
めくってね

では、どうしたらいいのでしょうか？



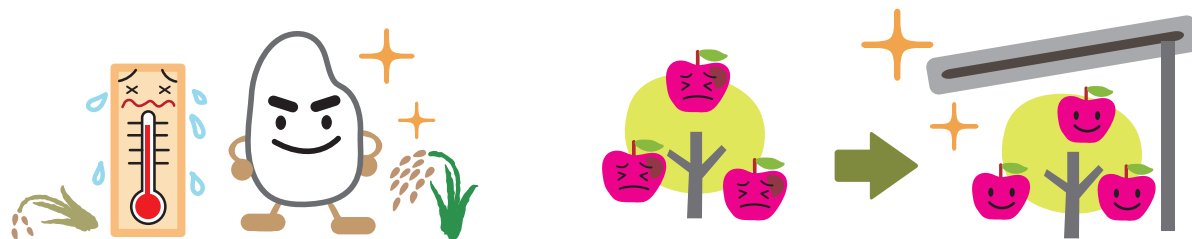
その答えのひとつが、気候変動の影響への「適応」です。



「適応」とは、気候変動の影響にあらかじめ備え、社会の仕組みや、一人ひとりの生活のあり方を変えることなどを言います。

例 1 食を守るための「適応」

気温の上昇や強い日射によって、お米や、リンゴ、ミカン、トマトなどの農産物に品質低下という影響が既に現れています。お米であれば高温に強い品種に変えたり、暑い時期から作付け時期を調整したり、リンゴやトマトであれば日よけで強い日差しから守ることなどが影響への対策、「適応」といえます。



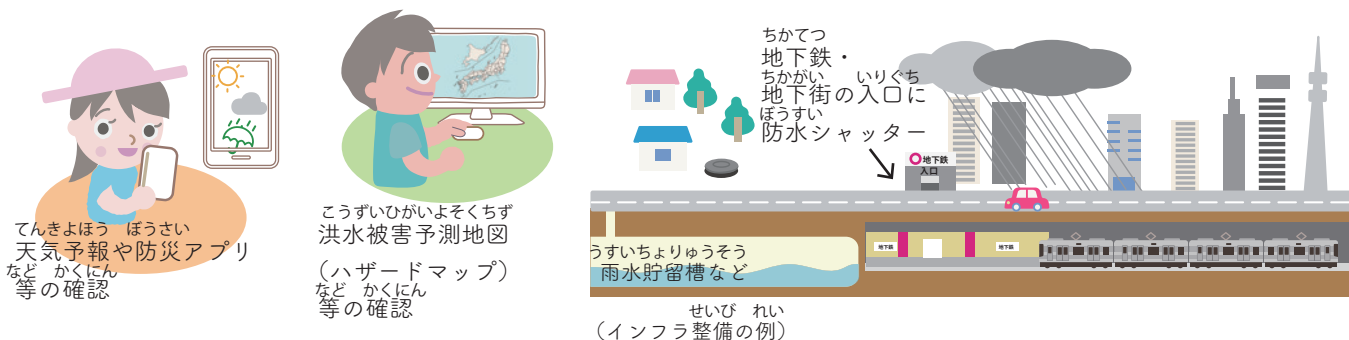
高温に強い品種に変える。作付け時期を調整する。

リンゴの日焼け（品質低下）を防ぐために、日よけを設置する

例 2 気象災害から暮らしを守るための「適応」

大雨による河川や下水道の氾濫、それにより生じる浸水被害を防ぐためのインフラ整備や、いざという時に安全に避難するための警戒避難体制の強化をすることも被害を減らすための「適応」といえます。

私たち一人ひとりが、天気予報や防災アプリを確認したり、洪水被害予想地図（ハザードマップ）や避難経路を確認し、気象災害に備え身を守る準備をすることも重要な「適応」といえます。



天気予報や防災アプリなど、かくにん等の確認

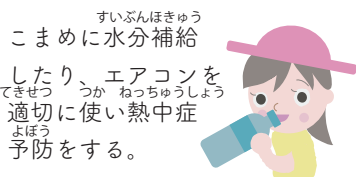
洪水被害予測地図（ハザードマップ）など、かくにん等の確認

（インフラ整備の例）

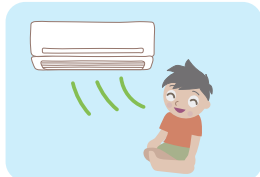
例 3 健康を守るための「適応」

気温の上昇により、熱中症で搬送される人の数が増えたり、病気を媒介する蚊の北上などの影響が出ています。

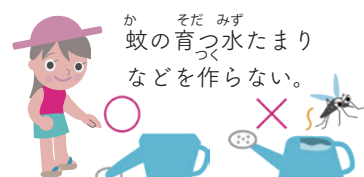
水分補給をこまめにしたり、エアコンを適切に使用することによって熱中症を予防したり、虫刺されに気をつけるなど、一人ひとりが自身の健康を守るために行動することも「適応」なのです。



こまめに水分補給したり、エアコンを適切に使って熱中症を予防する。

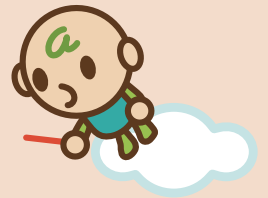


虫よけスプレーなどで虫刺されに気をつける。



蚊の育つ水たまりなどを作らない。

取り組みは既に始まっている！



「適応策」はすぐ近くにもある！

実は、「**適応**」は身の回りでも既に組み込まれています。行政（国や地方自治体）が行うものもあれば、企業や個人が行えるものもあります。みなさんも知らない間に「**適応**」を行っているかもしれませんね。

2
 要因：水温上昇
 影響：ダム湖のアオコ発生（水質悪化）
 適応：水の循環装置を使って水質改善！

3
 要因：大雨等
 影響：土砂災害の発生
 適応：警戒避難体制の強化！

5
 要因：高温
 影響：ウシの乳量低下等
 適応：牛舎を噴霧装置で冷やす！
 (出典1より)

1
 要因：高温・強日射
 影響：日焼け果
 適応：日よけで日射を遮る！

4
 要因：高温等
 影響：コメの品質低下（白米熟粒等）
 適応：高温耐性品種を使った稲作！

6
 要因：高温等
 影響：トマトの実が裂けることで品質が低下（裂果）
 適応：遮光・遮熱する！

16
 要因：大雨
 影響：河川氾濫
 適応：治水安全度を向上させるためのインフラ整備！

8
 要因：①高温、②大雨
 影響：①熱中症、②気象災害被害
 適応：天気予報や防災アプリの活用！

9
 要因：高温
 影響：熱中症
 適応：こまめな水分補給！

7
 要因：大雨
 影響：洪水の発生
 適応：ハザードマップを確認し備える！

15
 要因：気温上昇
 影響：病気を運ぶ蚊の棲む地域の拡大
 適応：蚊が育つ水場を作らない！

10
 要因：高温
 影響：熱中症
 適応：適切なエアコンの使用！

14
 要因：大雨
 影響：下水道の氾濫
 適応：雨を一時的に貯める施設で氾濫被害を軽減！

14
 雨水貯留槽など

13
 要因：海面水位上昇
 影響：砂浜の減少・消失
 適応：養浜や浸食対策で砂浜保全！

11
 要因：大雨
 影響：地下鉄の駅への浸水
 適応：入口に板（止水板）を設置して水の浸入を防ぐ！(出典4より)

12
 要因：海水温上昇
 影響：サンゴの白化等
 適応：サンゴの移植や増殖を行う！
 (出典5より)

他にもまだまだ沢山の「**適応**」があります。これから新しく生まれる「**適応**」もきっとあります。

※ここでの要因は気候変動に関連するものを一例として挙げています。
 ※このページの情報は2018年時点のものです。今後内容が変更する可能性もありますので、ご了承ください。
 出典1：農林水産省「平成27年地球温暖化影響調査レポート」(http://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/ondanka/attach/pdf/index-3.pdf)
 出典2：国土交通省「わがまちハザードマップ」(https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/)
 出典3：気象庁ウェブサイト「高解像度降水ナウキャスト」(https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/(2018年1月15日に利用))
 出典4：第4回 大規模水害対策に関する専門調査会 資料5「東京メトロの水害対策」(http://www.bousai.go.jp/kaigirep/chuobou/senmon/daikibosuigai/4/pdf/shiryu_5.pdf)
 出典5：環境省パンフレット「全国の自然再生の取組み 自然との共生を目指して」(https://www.env.go.jp/nature/saisei/network/relate/li_4_1/10.pdf)

「2つの気候変動対策」 どちらも欠かせません！

気候変動には、もうひとつ大切な対策があります。それは、気候変動の原因とされる温室効果ガスの排出を抑える「緩和」です。影響に備える「適応」とともに、どちらの努力も続けることが大切です。



かんわ
緩和

てきおう
適応

「緩和」と「適応」
2つとも
おぼえてね！

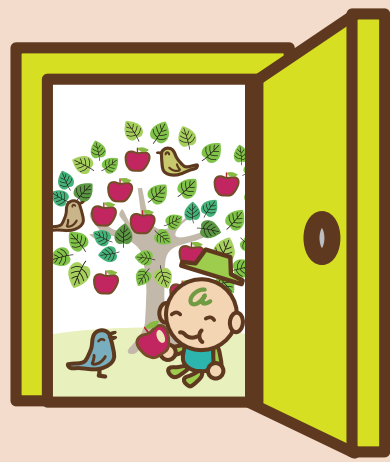
「適応」が創造する新しい社会

「適応」は、気候変動によって生じる新たな被害、大きな災害に備えるための対策といった側面が多いことも事実です。一方で、例えば企業にとっては、気候変動による様々な影響に積極的に向き合うことにより、社会に役立つ新たなビジネスを生み出すことができるといった可能性もあります。

また、日本の「適応」に関する新しい技術開発や取組は、気候変動による影響がより深刻な他の国や地域への貢献にもつながります。特にアジア太平洋地域ではその重要な役割が求められています。

私たち一人ひとりが「適応」について、理解を深め、行動していくことは、日本の未来の世代のために必要なことであると同時に、世界中の人たちにとっても大変重要なのです。

未来に
向かって
適応だ！



気候変動の影響への適応に関する様々な情報を提供しています。
「気候変動適応情報プラットフォーム」ホームページ
adaptation-platform.nies.go.jp

